

議会だより



決算特別委員会報告……………	2
第3回定例会で決まったこと……………	4
審議した議案と各議員の賛否……………	7
一般質問 町政を問う……………	9
議会の動き・研修報告……………	14
追跡調査・編集後記……………	16

決算特別委員会での主な 質疑・答弁

第3回定例会初日の10月12日、町長から提案された令和3年度城里町決算(7会計)、水戸地方農業共済事務組合事業会計について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。

決算審査は各議員が広く審査を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



総務民生常任委員会の審議状況

総務民生常任委員会

会期中の10月13日に委員会を開催し、令和3年度一般会計決算の所管分野・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。

(一般会計)

歳入

問 固定資産税の収入未済額6千万円の理由は。

答 コロナ感染症に伴う固定資産税減免により、税が減額されたもので、この減額分については、減収補てんとして国から特別交付金として交付されました。

問 地方消費税交付金が、4千400万円増えている理由は。

答 消費税の1.7%相当分が国から県に譲渡され、さらに県の基準でその2分の1が市町村に交付されるもので、増えた理由は消費が増えたためです。

歳出

問 マイナンバーカードの普及率と普及のための対策は。

答 普及率は令和4年9月25日現在、41.4%であり、エコスやワクチン会場へ職員が出張し申請を促しています。

問 一人暮らし高齢者に乳製品を配達する愛の定期便事業で、登録者243名とのことだが、75歳以上の一人暮らし高齢者全員なのか、また、登録方法は。

答 75歳以上の高齢者は449名で、登録方法は、家族や民生委員が訪問し、聞き取りを行って登録の申請をします。

問 常北小児童クラブで、3千900万円の整備を行ったが、現在の利用児童は何名いるのか。

答 令和4年10月現在で、登録者は6名です。

問 新型コロナワクチン接種事業費の中に報酬と職員手当とあるが、七会診療所の医師も含むのか。

答 毎週月曜日、火曜日の午後、七会診療所の医師と看護師をコロナワクチン接種会場に派遣しており、その手当等も含まれます。

問 不法投棄及び不適正残土事業監視強化事業で、ドローンによる監視の結果は。操縦は町の職員が行っているのか。

答 ドローンで監視した結果、不法投棄の事例はありませんでした。操縦は町民課職員が行っており、町民課内でドローンを操縦できる職員は5名います。

問 古民家活用事業の内容は。

答 鳥家住宅周辺の草刈り等管理費として古内地区に20万円、トイレのリース代12万、出入口の修繕に14万4千円とその測量設計に14万5千円となっています。

問 防災行政無線更新事業で、無線をまだ取りに来っていない人の割合は。

答 令和4年10月現在で、17%がまだ取りに来ていません。8月の広報誌で、戸別受信機の受け取りについて啓発をしたところで、引き続き啓発に努めます。

問 (国民健康保険特別会計) 国民健康保険税を滞納している方の保険証の扱いは。

答 有効期間が通常より短い「短期保険証」や「資格証」で対応しています。(後期高齢者医療特別会計) 質疑はありませんでした。

問 (介護保険特別会計) 介護保険料を多くもらいすぎたために返還を行う過誤納付の内容は。

答 特別徴収保険料分は148万5,860円、普通徴収保険料分は20万9,800円が還付未済額となっています。

教育産業常任委員会

会期中の10月14日に委員会を開催し、令和3年度一般会計決算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計・水戸地方農業共済事務組合事業会計の決算について審査しました。



教育産業常任委員会の審議状況

(一般会計)

歳入

問 アイジー基金からの繰入金金の使い道は。

答 アイジー基金から40万円を一般会計に繰出し、うぐいすの広場で使用するパソコン2台を購入したものです。

歳出

問 農業委員会費の減額補正と繰越明許費12万円の内容は。

答 減額補正は、農業委員と最適化推進委員との合同研修を中止したことにより、バス借り上げ料、特別旅費を減額したもので、繰越明許費は国庫補助で国の一括購入によるタブレット3台の納品が遅れ、繰越しとなったものです。

問 林業振興費の委託料の内容は。

答 委託料は林道の刈払い、森林整備を行う身近なみどり整備推進事業、森林管理制度に伴う森林現況調査となっています。

問 文化財保護費の工事請負費の内容は。

答 黒澤止幾生家の屋根へのシートかけに77万円、文化財の説明標識板の修繕に44万円を支出したものです。

問 新築された町営南団地は狭く、収納も少ないと住民からの話を聞くが、その声に対してどう対応しているのか。

答 すでに建築された住宅については、戸棚の増設やバリアフリー化の追加工事を検討するとともに、次年度以降建築される住宅については、できる範囲で内容の変更も検討します。

問 スクールバス運行事業の中で、令和5年度中に運行の見直しを行うとのことだが、もっと早い段階での変更はできないか。

答 令和5年度は運行の見直しをバス会社と協議するため時間を要することから、令和6年度からの運行に反映できるようにしたいと考えています。

問 (公共下水道事業特別会計) 流域地区下水道整備事業で、現在の進捗状況は。

答 現在、国の補助事業で増井地区を整備しており、あと2年くらいで整備が終了する予定です。(農業集落排水事業特別会計) 質疑はありませんでした。

問 (水道事業会計) 水道事業収益の減額補正の理由は。

答 受託工事の収益の減によるものです。(水戸地方農業共済事務組合事業会計) 質疑はありませんでした。

第3回定例会

第3回定例会は、10月12日から21日の10日間の会期で開催し、専決処分1件・条例改正等4件・契約の締結1件・損害賠償額の決定1件・計画の変更1件・補正予算6件・決算認定8件・人事関係1件が上程され、発議2件を含む全ての議案について、原案のとおり可決しました。陳情2件、報告は14件ありました。

専決処分

承認

承認第5号

▽専決処分第5号（城里町

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例）の承認を求めるとについて

（非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和等を改正したもの）

条例の改正・廃止

可決

議案第39号

▽城里町国民健康保険診療

所医師住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

（使用しなくなった医師住宅2棟を廃止するもの）

議案第40号

▽城里町地域振興基金条例を廃止する条例について

（地域の福祉活動の促進等ための経費に全てを充てたことから廃止するもの）

議案第41号

▽城里町スポーツ及び芸術文化振興基金条例を廃止する条例について

（スポーツ及び芸術文化

の振興のための経費に全てを充てたことから廃止するもの）

議案第42号

▽城里町家族旅行村基金条例を廃止する条例について

（家族旅行村施設の営繕のための経費に全てを充てたことから廃止するもの）

契約の締結

可決

議案第43号

▽工事請負契約の締結について

契約の目的

令和3年度 城里町環境センターストックヤード建設工事
契約の金額 8,217万円

契約の相手方

水戸市けやき台2の13の2
コスモ綜合建設株式会社

契約の方法
一般競争入札

損害賠償額の決定

可決

議案第44号

▽損害賠償額の決定及び和解について

（令和4年6月14日、錫高野地内で発生した、町

内公道における物損事故の損害賠償額を決定し、和解することについて議会の議決を求めるもの）

計画の変更

可決

議案第45号

▽城里町過疎地域持続的発展計画の変更について

（令和4年4月1日より旧桂村の区域が過疎地域に指定されたことに伴い、計画の変更について議会の議決を求めるもの）

補正予算

可決

議案第46号

▽令和4年度城里町一般会

計補正予算(第2号)に

ついて

追加補正額

6億8,027万5千円

主な事業

- ・事業者等支援金交付事業
 - ・ホロルの湯屋上防水改修事業
 - ・医師住宅用地分筆登記業務
 - ・石塚開放学級駐車場整備事業
 - ・低所得者の子育て世帯給付金支援事業
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種事業
 - ・農家給付金事業
 - ・町道補修事業等
 - ・各施設電気使用料
- 予算総額
107億893万2千円

反対討論

藤咲 美美子 議員

今回の補正予算に反対する理由は3つある。

- ①ふれあいの里の冷凍冷蔵庫購入事業66万円は、修繕不能で入れ替えというが、黒字分から負担できないのか。
- ②ホロルの湯の屋上防水改修工事5,065万円は、雨漏りするまで放置せず早めの改修で経費も少なく済んだ。管理がずさんである。
- ③石塚開放学級の外構事業については、昨年12月に972万円で工事をしたばかりだ。なぜやり直しなのか検証すべきだ。児童たちが放課後快適に過ごす環境整備は大いにすすめるべきだが、ずさんな工事のやり方には納得がいかない。

ホームページに「議案書」を載せています

城里町では、定例会の議案書をホームページに掲載しています。各議案の詳しい内容については、議案書をご覧ください。

城里町公式
ホームページ

議会事務局

をクリック⇒

議案書

をクリック

議案第47号

▽令和4年度城里町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

(事業勘定)

追加補正額

1,505万8千円

- ・傷病手当金等

予算総額

22億8,861万2千円

議案第49号

▽令和4年度城里町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

(保険事業勘定)

追加補正額

1億2,346万1千円

- ・過誤納還付金及び加算金

予算総額

26億2,708万3千円

(介護サービス事業勘定)
追加補正額

98万6千円

- ・前年度繰越金の確定によるもの

予算総額

609万1千円

議案第48号

▽令和4年度城里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

(収益的収入)

追加補正額

85万1千円

- ・保険料還付金等

予算総額

2億5,984万6千円

議案第50号

▽令和4年度城里町水道事業会計補正予算(第1号)について

(収益的収入)

追加補正額

2,300万円

- ・下水道等受託工事負担金

収入予定額

7億2,172万1千円

(収益的支出)
追加補正額

- 6, 800万円
- ・ 水道基幹施設維持管理事業 (電気使用料)

支出予定額

7億6, 672万1千円

議案第51号

▽令和4年度城里町下水道事業会計補正予算(第1号)について

(収益的収入及び支出)
追加補正額

- 2, 191万2千円
- ・ 下水道施設等維持管理事業 (電気使用料)
- ・ マンホール及び周辺道路の修繕

収入支出予定額

11億8, 125万6千円
(資本的支出)
追加補正額

- 2, 135万4千円
- ・ 水道管移設補償費
- ・ かつら水処理センターの放流ポンプ交換工事

支出予定額

9億3, 314万円

決算認定

認定

議案第52号

▽令和3年度城里町一般会計決算認定について

議案第52号から第59号
「決算認定」の審議内容については、
P 2 - 3「決算特別委員会報告」をご覧ください

反対討論

藤咲 美美子 議員

監査委員の審査の意見として「単年度収支が赤字となっており決して樂觀視することはできない」と記されており、決算カードをみると、平成29年度から令和2年度まで4年連続実質単年度収支が赤字である。町長のいう財政の健全化とは程遠い現状を直視すべきだ。

コロナ禍で減収になっている中小企業や個人経営等への、国保税の均等割の値下げ、水道料金等の持続的負担軽減にこそ支援すべきだ。

認定

議案第53号から
議案第59号まで

▽令和3年度城里町国民健康保険特別会計決算認定について

▽令和3年度城里町後期高齢者医療特別会計決算認定について

▽令和3年度城里町介護保険特別会計決算認定について

▽令和3年度城里町公共下水道事業特別会計決算認定について

▽令和3年度城里町農業集落排水事業特別会計決算認定について

▽令和3年度城里町水道事業会計決算認定について

▽令和3年度水戸地方農業共済事務組合事業会計決算認定について

人事

同意

議案第60号

▽城里町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

次の方の選任に同意しました。

高橋 研二氏 (牛久市)

任期

令和4年10月21日から
令和5年6月30日まで

陳情

採択

陳情第1号

▽「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める陳情

陳情第2号

▽教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情

発議

可決

発議第2号

▽水田活用直接支払交付金の見直しをやめ、農家経営支援強化を求める意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣へ意見書を提出しました。

発議第3号

▽教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣へ意見書を提出しました。

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対、棄は棄権、-は欠席、※は除斥の対象（自己の一身上に関する事件については、議事に参与できないこと）による退席

議案番号等	議案名等	賛否数		議 員 名													
		賛成	反対	高橋裕子	金長秀範	綿引静男	飯村 栄	桜井和子	加藤木直	猿田正純	藤咲芙美子	片岡 藏之	三村 孝信	関 誠一郎	鯉淵 秀雄	小 坪 孝	阿久津則男
■第3回定例会（令和4年10月12日～21日）																	
承認第5号	専決処分第5号（城里町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	城里町国民健康保険診療所医師住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第40号	城里町地域振興基金条例を廃止する条例について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第41号	城里町スポーツ及び芸術文化振興基金条例を廃止する条例について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第42号	城里町家族旅行村基金条例を廃止する条例について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第43号	工事請負契約の締結について（令和3年度 城里町環境センターストックヤード建設工事）	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第44号	損害賠償額の決定及び和解について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第45号	城里町過疎地域持続的発展計画の変更について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第46号	令和4年度城里町一般会計補正予算（第2号）について	10	3	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	
議案第47号	令和4年度城里町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
議案第48号	令和4年度城里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第49号	令和4年度城里町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第50号	令和4年度城里町水道事業会計補正予算（第1号）について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長のため採決に加わっていない

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対、棄は棄権、－は欠席、※は除斥の対象（自己の一身上に関する事件については、議事に参与できないこと）による退席

議案番号等	議案名等	賛否数		議 員 名														
		賛成	反対	高橋裕子	金長秀範	綿引静男	飯村栄	桜井和子	加藤木直	猿田正純	藤咲美子	片岡藏之	三村孝信	関誠一郎	鯉淵秀雄	小坪孝	阿久津則男	
議案第51号	令和4年度城里町下水道事業会計補正予算(第1号)について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和3年度城里町一般会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	令和3年度城里町国民健康保険特別会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	令和3年度城里町後期高齢者医療特別会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	令和3年度城里町介護保険特別会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	令和3年度城里町公共下水道事業特別会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和3年度城里町農業集落排水事業特別会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和3年度城里町水道事業会計決算認定について	12	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	令和3年度水戸地方農業共済事務組合事業会計決算認定について	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	城里町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	水田活用直接支払交付金の見直しをやめ、農家経営支援強化を求める意見書	12	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	12	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長のため採決に加わっていない

傍聴者報告

第3回定例会(10月12日~21日まで) 合計26人

次回の定例会は12月6日からを予定しています



車いすでの傍聴も出来ます。

日程など詳しいことは議会事務局またはホームページでご確認ください。

TEL.029-288-3111(内線302) <https://www.town.shirosato.lg.jp>

一般質問

町政を問う

今回4名が質問し、
その要約を掲載しました。

関 誠一郎 議員 …………… 10

1. 高齢者に於ける緊急ブレーキシステムに補助を
2. 道の駅かつら移転に伴う土地買収は
3. 石塚浄水場の見直しを

高橋裕子 議員 …………… 11

1. おひさま学童クラブ施設整備について
2. 高校生のインターハイ出場への援助について
3. バス停付近の防犯灯設置について

藤咲 芙美子 議員 …………… 12

1. 補聴器購入に補助を
2. 夜間診療ができる医療施設を
3. デマンドタクシーについて
4. 後期高齢者医療被保険者証について

綿引 静 男 議員 …………… 13

1. 町政8年間の総括とこれからの4年間の目標について
2. 水道事業の方向性について

☐次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌸「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。

高齢者に於ける緊急ブレーキシステムに補助金を

《町長》 予算化に向けて努力する



せいき せいいちろう 議員
関 誠一郎



こちらから
動画が視聴できます



関 近年、高齢者におけるブレーキ・アクセルの踏み違いによる事故が多発している。

悲惨な事故を少しでも減らす為に補助をして、町民に安心を提供してはどうか。

町長 来年度から予算化に向けて努力する。

道の駅かつら移転に伴う土地買収は

《町長》

この4年でオープンしたい

関 移転の検討

委員会は6回行われたが、橋のルート、構造の話はなく、伊勢畑へ行く取付道路の計画もされないまま、予算だけが先行し、中途半端に閉じられた。

全く空想の委員会だった。しかし、移転候補地が決まり今年8月に測量費、基本設計、実施設計が業者と契約(8,500万円)されたが、候補地の買収又は確約は取れているのか。

町長 土地の買収はしていない。

関 設計等が全て仕上がり、業者に全額を支払ったが、土地の買収が出来なかった場合どうするのか。当初町長は、令和7年にオープンしたいと言っていたが、その考えは変わらないのか。

町長 この4年でオープンしたいと考えている。

関 県は工事期間を15年しているとのこと。工事期間内の営業は厳しいのではないか。

まちづくり戦略課長 県と協議して調整をしていく。

石塚浄水場の見直しを

《町長》

30年後に県が水道事業を一体化する

関 今年7月に

職員と町長に庁舎の水を飲んで感想を聞いた。桂在住の職員は飲めなかった。石塚在住の職員は少し臭い。町長は何も感じないとのこと。地球温暖化により、水質に大きな変化が起こり始めている。

そんな中、日上市、常陸太田市、ひたちなか市では市民に安全安心の水の供給を第一に、方向転換を行った。町は現在の供給の転換を考

えてはどうか。那珂川の取水場には、12月になると産卵を終えたサケが何千匹と死んでいる。町長は、見に行ったことがあるか。

町長 石塚浄水場の取水口で視覚的に大丈夫かなとの印象があったとしても、浄水場の処理で問題のない水である。

関 今年町への苦情が29件、私が調査した47件全員が臭いという結果がだされた。取水口浄水場の見直しを早急にすべきでは。

町長 町での浄水場の更新は多額の費用を要し、30年後に県が水道事業を一体化にする考えで、それを見込みたい。

関 桂地区・七会地区・常北地区の一部は地下水を飲んでる。そのことを十分理解して、早急に安心な水の供給を節に願っている。



たかはし ゆうこ 議員
高橋 裕子

おひさま学童クラブ施設整備について



こちらから動画が視聴できます

《町長》 予算の確保出来る

高橋 児童の思い・保護者目線・感染対策を考慮した上でのを考える。町長 石塚小のよう利用者が多い学校については、30人程度の四つの集団に分けておくことは、感染対策としても理にかなっていると考ええる。

高橋 施設整備の予算確保は出来るのか。

町長 合併城里の成果として、町の財政は健全になった。国・県の補助等も活用して予算を確保する事は出来る。

高橋 来年度の入学予定を伺いたい。

町長 出生数は71人だったが、入学予定数は三年ぶりに一〇〇名を超える見込みとなっている。

高橋 学童クラブ以外での施設の利用価値はないか。

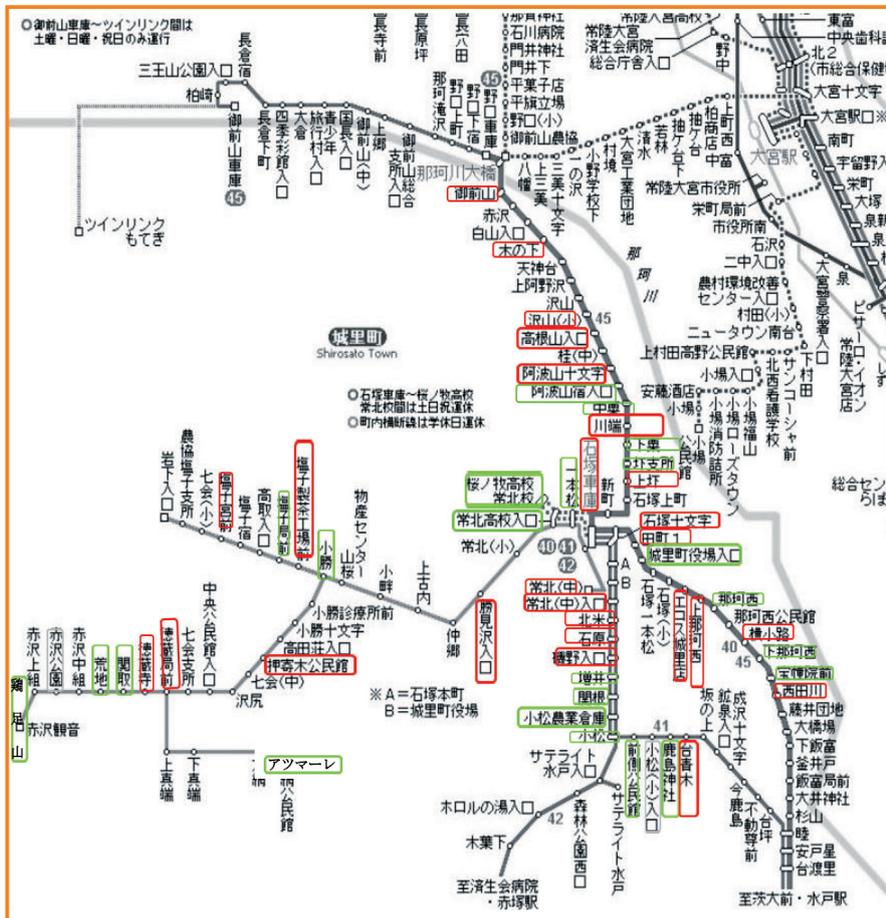
町長 石塚小周辺は人口の多い地域であるが、集落センターがない。たとえ児童が減少したとしても地域の交流施設として活用するなど有効に使用する事は可能と考える。

《町長》
高橋 人知れず努力を重ね全国大会に出場している高校生への支援がない。近隣市町村と同様に支援は出来ないか。

町長 支援の手を差し伸べ、近隣市町村並みの制度を作っていくきたい。

高橋 町からの支援は、子供達のモチベーションにつながる。小学生からの支援も検討いただきた

高校生のインターハイ出場への援助について



城里町路線バス(2018年)

- 赤線・・・街灯があり明るい
- 緑線・・・街灯がない
- 白線・・・街灯が遠いなど明るいとは言えない
- 枠なし・・・探せなかった

バス停付近の防犯灯設置について

《町長》 補正予算で20カ所分計上

高橋 水戸から城里に入ると、城里町は大変暗いと感じる。今回、町内約75ヶ所を調査したが、バス停付近くらい防犯灯があってもいいのではないか。

町長 今回、補正予算で20ヶ所分計上した。バス停を利用する方の安全を守る為に必要である。

高橋 城里町が少しでも明るい町になるよう願っている。

補聴器購入に補助を



藤咲 芙美子 議員



こちらから動画が視聴できます

《長寿応援課》 今後協議していく

藤咲 今度の選挙で、町長はチラシに「補聴器購入補助を始めます」と書いています。

私は補聴器購入補助の実現のため、次のことを提案をする。
①聴力レベルが40デシベルになると、日常生活に不便をきたすので補助年齢は問わないこと。

②聴力低下によって買い替えが必要になる。補助は複数回とすること。
③購入費の補助額は、半額又は全額の補助とすること。

④医師の診断書は必要としないこと。
⑤対象は所得制限なしとすること。

長寿応援課長 ①補助年齢は65歳からとする②補助回数については、耐用年数5年を経過した場合、

再度申請できる。

③補助額は1万円からとする④医師の診断書は必要としない⑤所得制限なしで補助を行う。

そのほか、細かいところはこれから決めていく。

藤咲 年齢制限と補助金額について、再度検討してほしい。
長寿応援課長 今後協議していく。

夜間診療ができる医療施設を

《町長》

新規の病床設置は許可されない

藤咲 身近な医療機関の有無は安心・安全なまちづくりにとって極めて重要だ。石塚地域は、夜間無医地区となっている。安心して子育てするためには、夜間診療が求められる。

町長 城里町が属する水戸医療圏は、入院ベッド数が過剰とされている。新規の病床設置は許可されない。

後期高齢者医療被保険者証について

《健康保険課長》

今後は、丁寧な説明を心がけていく

藤咲 後期高齢者医療被保険証が2回続けて交付された。なぜ連続しての交付なのか説明がない。丁寧な説明が必要だ。

健康保険課長 国の制度改正により、10月1日からの保険証を9月にも送付した。今後は更に分かりやすく丁寧な説明を心がけていく。



デマンドタクシーについて

《町長》町外まで行くことを検討

藤咲 選挙のチラシで、免許返納後の不安に対し「町外まで行ける格安タクシーの導入」「増車によるデマンド交通の使いやすさ」について記している。町外利用ができるとあるが、それは復路も可能なのか。町外とは県内どこでも対象になるのか。

町長 様々な公共交通の福祉タクシーなどの充実手段がある。この制度を組み合わせ、安く便利で安心な体系を作り上げていく。デマンドタクシーを増車し、町外まで行くことを検討している。



綿引 静男 議員

町政8年間の総括とこれからの4年間の目標について



こちらから動画が視聴できます

《町長》 財政は健全化の道歩んでいる

綿引 これまでの8年間に、どのような成果があったか。

町長 本庁舎、環境センター、七会診療所、桂中体育館など、合併設計画で掲げられた施設の整備がほぼ完了し、基幹設備の整備を終えることができた。

また、財政は着実に健全化の道歩んでいる。

綿引 そのような成果の中で、やり残したことや課題についてどのように認識しているか。

町長 停止してしまつた事業や課題も残っていると認識している。ふるさと納税の強化、停電しても安心して避難できる避難所づくり、狭あい道路の解消、舗装されていない私道の公道化、農業集落排水の下水道への転

換、道の駅かつらの建て替え事業などの課題がある。

綿引 今回の選挙戦で得られた町民の意見の中で、参考になったことはあるか。

町長 ゴミの回収時、庭木の枝をゴミ袋に入らずに出すとか、家具類の自宅訪問回収など、細かな制度の改善に取り組みたい。住民と直接意見交換することは有意義であり、得られたことが多かったと思う。



綿引 これからの4年間の目標や決意は。

町長 道の駅かつらの建て替え事業、狭あい道路の解消、河川の整備、停電しない避難所の整備などの課題について、危機感・緊張感をもつて一つ一つ仕事を進めていきたい。

水道事業の方向性について

《町長》 県の水道事業統合に協力したい

綿引 町の水道事業の経営状況は。

町長 健全経営の水準とされる経常収支比率は100%を上回っているが、料金回収率は100%を下回っている。今年度については電気料金の急激な上昇によって赤字となる見込みだが、繰越利益剰余金を7億円保有しているため赤字を埋めることはできる。

綿引 人口減少社会でも安全で強靱な水道を持続させることを目的とした茨城県水道ビジョンについてどのように考えているか。

町長 県全体で水道事業を統合して効率化を図ることにより、一般会計から水道会計への持ち出しを減らすことができるとの県からの提案に協力したい。

町の浄水場が老朽化していくこともあり、早期の統合を考えている。



石塚浄水場

議会の動き

議会ホームページに、各委員会ごとの詳しい研修報告書を載せています。ご覧ください。

城里町公式
ホームページ

議会事務局

をクリック⇒

研修報告

をクリック

研修報告 議会運営委員会 令和4年7月19日

茨城県大洗町議会の、議会改革及び議会活性化の取り組みについて、視察して参りました。



大洗町議会
飯田英樹議長と柴田佑美子副議長から、説明をうける様子

議会改革の経緯

開かれた議会、信頼される議会を作るため、平成20年頃から議会改革・活性化に取り組んできた。

取り組み

- ・傍聴者増への取り組み
開会前のダイレクトメール、閉会後の礼状送付。アンケートの実施。
- ・本会議（一般質問時）
一般質問は1日3人までとし、午前中で終わる日程にした。説明時スクリーン使用で、写真やグラフ等によりわかりやすく、説明時間の短縮を図った。
- ・委員会
4つの常任委員会を1つにし、委員会運営の充実と効率化。優秀な職員を育てる観点から、委員会時の説明者を課長から係長にした。
- ・政務活動費の取得
適正な使用確保のため、用途を限定し精算払い。ホームページへ実績を公表し、弁護士等による監査も実施。

研修まとめ

議長、副議長の説明の中で、議員自らが情報を発信するなど、議会をより良くしていこうという姿勢、情熱には、大変刺激を受けました。今後の議会運営を行っていくにあたり、参考になることも多く、とても有意義で実のある研修となりました。

* — *

研修報告 議会広報委員会 令和4年9月20日

シェーンバツハ・サボー（東京）で、開催された「令和4年度町村議会広報研修会」へ参加して参りました。



講師 吉村 潔 氏

（町村議会広報全国コンクール審査員）

講話

広報広聴は地道な蓄積で、容易に「解」や「成果」は得にくいもの。令和3年度広報コンクール受賞のトップ3を取り上げ、その実践的・持続的な「改革」と「次」への挑戦をフォーカスする。

研修まとめ

広報コンクール受賞を受けた3つの議会とも、議員主導の町民目線の広報となっており、問題提起、写真やグラフ等の使い方、エビデンス（根拠）となる数値や他市町村との比較などを意識した広報となっています。また、写真と文字のバランスや特集ページの文の構成、わかりやすい見出しについても、参考となりました。

研修報告

総務民生常任委員会
教育産業常任委員会
令和4年11月11日

総務民生常任委員会

取り組み

危機管理監、危機管理課を市長直轄化、災害各種計画の策定、防災アプリ運用、地域防災力の育成。

研修まとめ

住民による自主防災組織立ち上げや、防災士育成への助成を行い地域の防災力の育成・活性化に向けた取り組みや、災害時に人的及び物的支援を外部から受け入れる受援計画については、大変参考となるものでした。



茨城県龍ヶ崎市の、防災・減災日本一に向けた取り組みと災害時受援計画についての視察及び龍ヶ崎市歴史民俗資料館、たつのご産直市場を視察して参りました。



教育産業常任委員会

龍ヶ崎市歴史民俗資料館

県指定文化財の丸木船をはじめ企画展では茨城県美術展でも要職を務められた廣津龍伍さんの油彩画展示を見学し、資料館ボランティアによる機織り作業の説明を受けました。

たつのご産直市場

市が運営する直売所で、新鮮野菜や龍ヶ崎の物産品などが揃っており、店内には野菜の料理方法のレシピを設置するなど、消費者の注意を引くディスプレイは、大変参考になりました。

第8回 県央地域議長懇話会が開催されました。

8月18日水戸市役所において、「県央地域議長懇話会」が開催され、阿久津議長が出席しました。県央地域議長会は、地方財政状況の悪化や人口減少など地方を取り巻く厳しい環境を踏まえ、県央地域9市町村の議長が協議連携を図ることにより、県央地域の一層の発展を目指していくため平成20年に設立されました。

今回の懇話会では一橋大学大学院法学研究科 辻琢也教授による、「人口減少社会における地方行政のあり方」について講話頂き、各市町村の議長と共に活発な意見交換を行いました。





どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

緊急車両が進入出来ない町道の状況について (令和元年6月)

町民の生命を守る緊急車両が進入できない町道の状況と整備計画は。

高齢者対策として

(令和3年12月)

高齢者の個人住宅のエアコン設置に、補助ができないか。

質問

消防車(中型車)が進入することが難しいと思われる路線は46路線ある

町道の整備予算と地権者の同意が得られるかが重要である。

近隣市町村の動向を踏まえて検討する

県内の4市が、令和3年度の単年事業として導入をしている。

答弁

現在の状況は、こうなっています

46路線のうち、2路線の拡張工事を行っている

町道8-0357号線(高久地内)、8-1056号線(錫高野地内)の工事を行っている。今後も、日常生活の利便性や災害時の安全など、住みよい環境づくりのため、整備をすすめていく。

現在のところ補助は考えていない

今、現在(令和4年度)、補助を行っている市町村はない。今後、近隣市町村の動向、状況を踏まえながら検討していきたい。

編集後記

かつて不毛の地といわれた東京代々木にある「神宮の森」は、100年前に造られた「人工の森」です。

それは、森の設計を担う3人の学者が、50年、100年、150年先の森を見据えた壮大なプロジェクトでした。時の政府に大反対されるも、学者たちは、綿密な研究結果の提示と、将来を見据えた強い信念をもって政府を説き伏せ、現在、命あふれる森となりました。自分がこの世を去った100年後の森の姿に想いを託し、真摯に取り組んだ学者たちの情熱には胸を打たれます。

私たちも、すべてに対し、神宮の森のごとく、将来を見据えた強い信念をもって町政を担っていくことが大切だと思います。

綿引 静男 記

議会広報委員会

- 委員長 桜井 和子
- 副委員長 藤咲 美子
- 委員 飯村 栄子
- 綿引 静男
- 高橋 裕子
- 金長 秀子